

中野区地域公共交通計画について

1. 地域公共交通計画の概要
2. 地域公共交通を取り巻く現状と課題
3. 計画の基本理念と基本方針
4. 公共交通サービス圏域とエリア区分
5. 目標と施策案
6. 体系図

1. 地域公共交通計画の概要

地域公共交通計画

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく、地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生を推進するための計画

社会情勢の変化

高齢化 人口減少
カーボンニュートラル

地域コミュニティの変化

外国人住民の増加
ライフスタイルの多様化

新技術の進展

DX ICT化
新交通システム

中野区では、中長期的な人口構造の変化や、多様性に配慮した持続可能な公共交通の確保が必要

2. 地域公共交通を取り巻く現状と課題

公共交通 インフラ	鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道網は概ね充実、中野駅～新宿駅区間で混雑
	バス	<ul style="list-style-type: none"> ● 南北にネットワークするバス路線は乏しい
	タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ● 唯一の24時間稼働の交通手段 ● タクシーならではのサービスが進んでいる
	交通結節点	<ul style="list-style-type: none"> ● 違法路上駐車が発生・歩行者集中による歩道混雑 ● 中野駅周辺で多い路上放置自転車
	自転車	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車の通行環境が整った道路が少ない ● 交通手段の割合は自動車よりも自転車・徒歩が高い
	道路	<ul style="list-style-type: none"> ● 中野区の道路率は低い・特に西武新宿線南側で低い ● 幹線道路の多くで混雑、特に鷺ノ宮・中野駅周辺 ● 道路幅員6m以上の道路ネットワークは一部のみ ● 区全域に狭あい道路・行き止まり道路が存在 ● バリアフリー整備は進んでいない
	地域交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通手段の満足度が低い若宮・大和町地域で、新たな公共交通サービス導入実証実験が実施中
環境の変化	高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者にとっての公共交通不便地域が散在 ● 2045年には3人に1人が高齢者
	人口分布変化	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道沿線を含め広範囲で、人口は減少 ● 将来的にJR線より南側地域で高齢者人口が増加
社会情勢の変化	災害への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 延焼遮断帯の未形成区間が多く存在 ● 各地域で防災まちづくりが進められている
	脱炭素化・新技術	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境の保全に関する施策を総合的に推進 ● 自動運転・MaaS等の新技術が実用化される想定
	ポストコロナ	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナ感染拡大により公共交通利用は減少 ● コロナ禍では通勤等移動で15%の人が動いていない
新たな拠点整備	駅周辺まちづくり・駅改良	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅周辺まちづくり・駅改良の取組みが進んでいる

課題

充実した公共交通ネットワークにおいても、地域ごとに公共交通サービスレベルの差があるため、区全域から区民の生活圈まできめ細やかな取組が必要

新技術の導入や、脱炭素化の実現など社会情勢の変化への対応が必要

将来的に大きく変化する人口分布や高齢化状況への対応が必要

駅周辺や新たな拠点整備に合わせた交通環境の改善やネットワーク見直しが必要

3. 計画の基本理念と基本方針

地域公共交通を取り巻く状況や課題を考慮し計画の基本理念と3つの基本方針を定めます。

【基本理念】

区民、企業、交通事業者、行政が相互に協力し、地域特性に応じた地域公共交通ネットワークを形成し、持続可能な地域交通環境の向上を目指す

【基本方針】

① 将来を見越した持続可能な公共交通へ

超高齢社会や人口減少への対応や、まちづくりと連携した持続可能な公共交通の環境整備を図ります

② 多様な選択を可能にする交通環境づくり

公共交通が不足している地域への新たな交通手段の導入や、路線バス網強化等の課題解決を図り、選択できる公共交通の維持・確保を図ります

③ 新技術の発展や環境に配慮した新たな取組

MaaSの構築やデマンド交通、新モビリティの導入等の検討や、脱炭素の実現のため公共交通の利用促進やシェアサイクル等の自転車活用の推進により、環境に優しい地域公共交通の実現を図ります

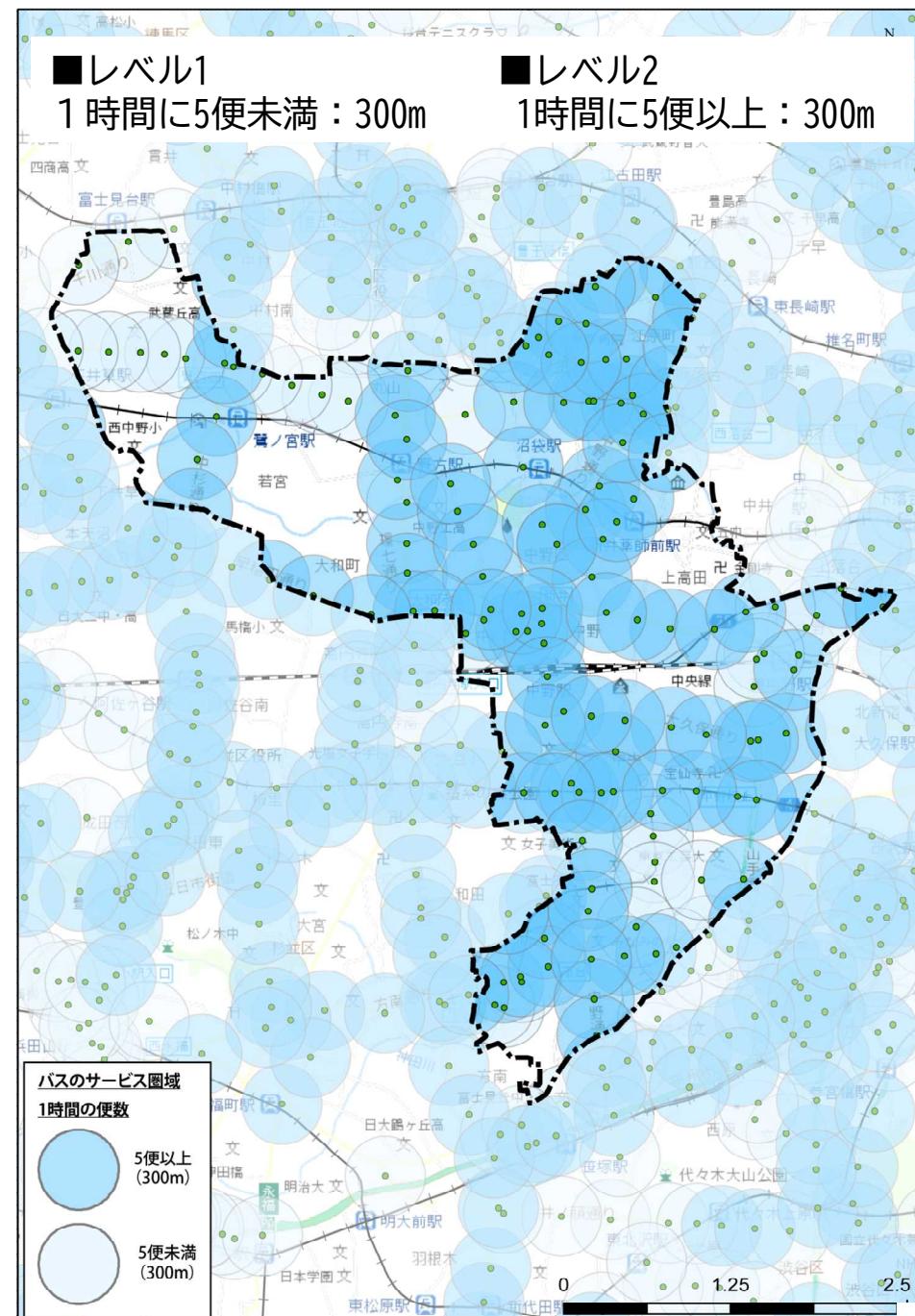
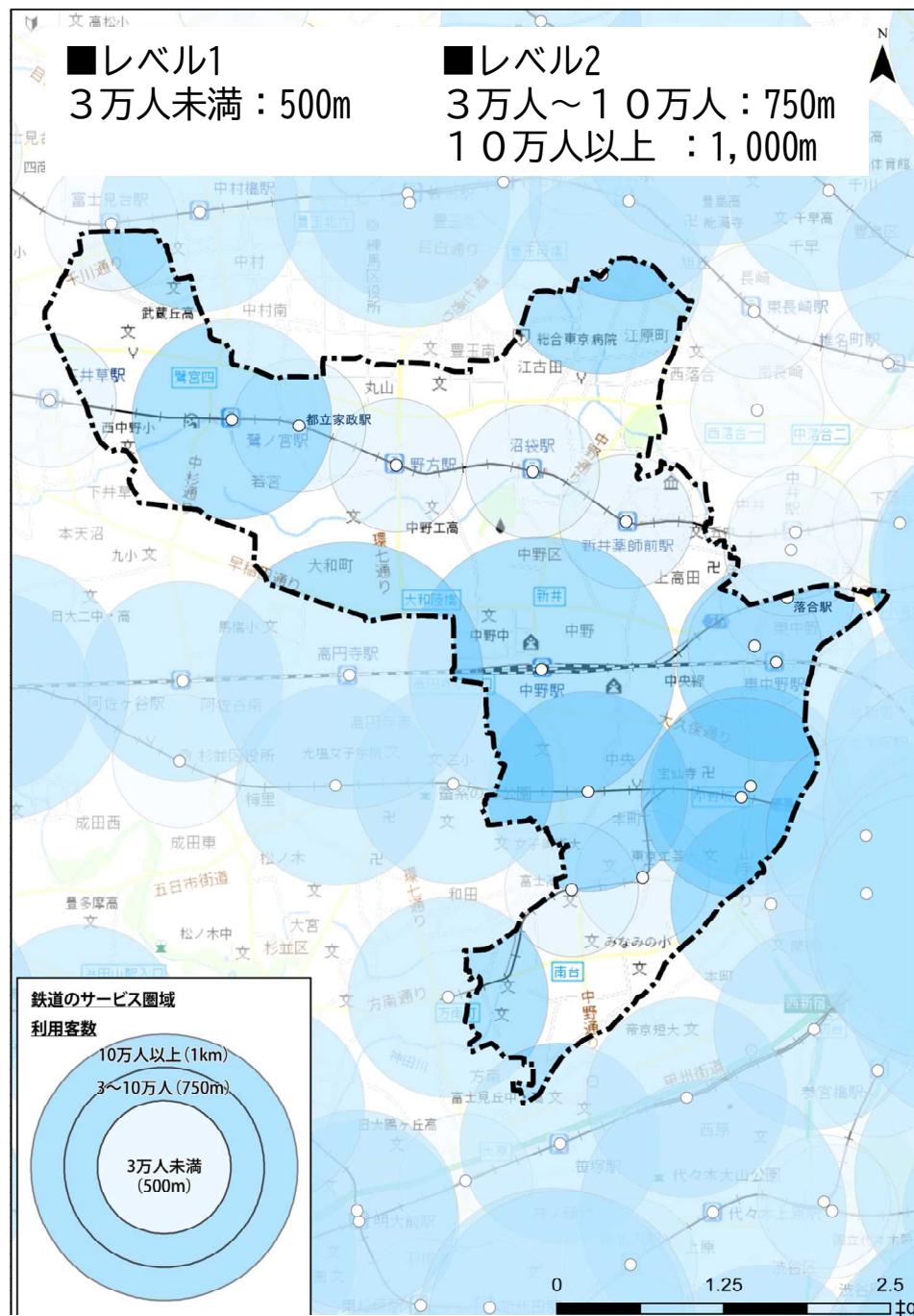
4. 公共交通サービス圏域とエリア区分

公共交通サービス圏域の考え方

鉄道駅・バス停が持つ、それぞれのポテンシャルからカバー圏域を設定し公共交通サービスレベルの充実度を判断します。

鉄道 ・乗降客数（日利用）の多さでカバー圏域・レベルを設定

バス ・便数の多さでレベルを設定



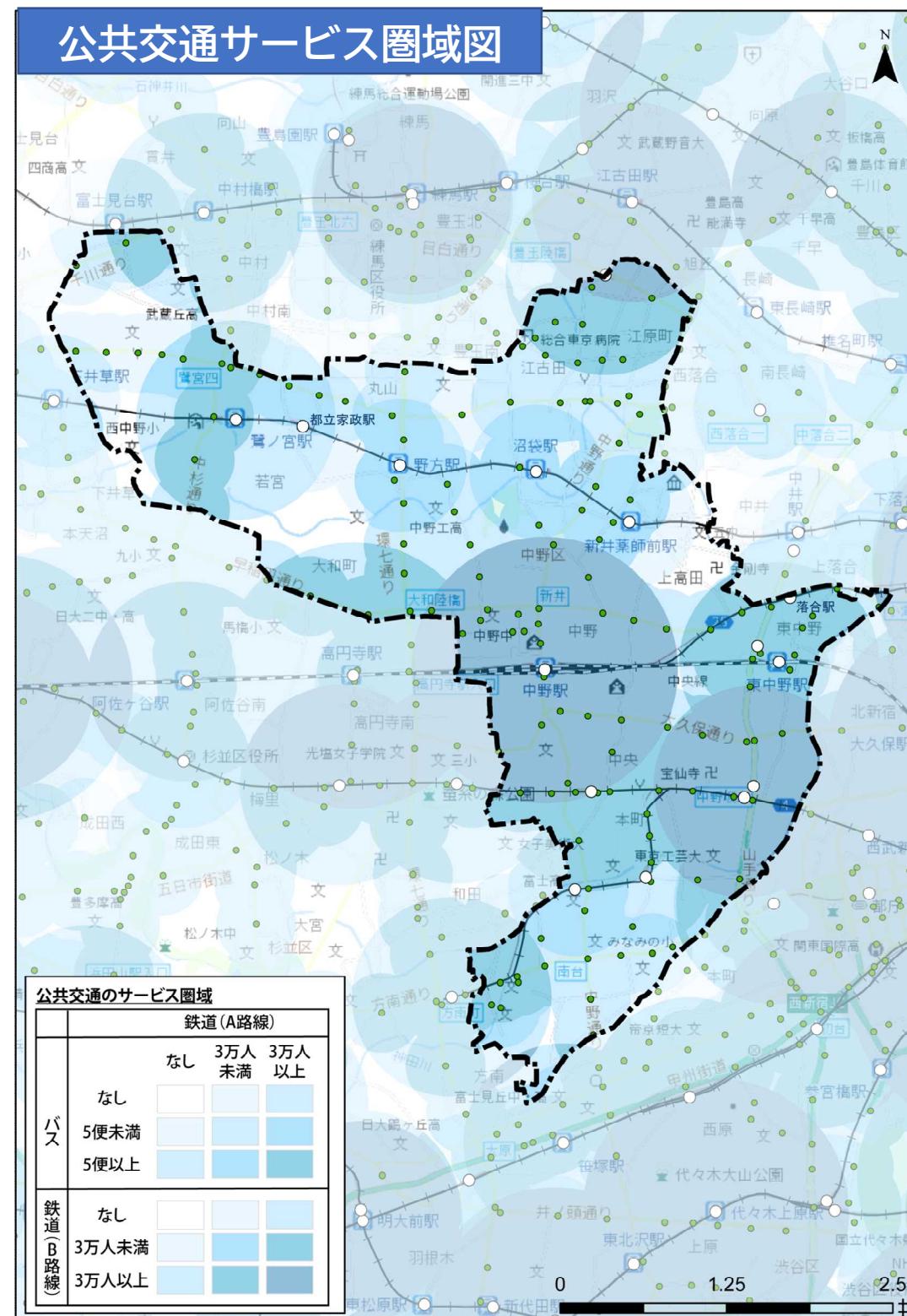
4. 公共交通サービス圏域とエリア区分

公共交通サービスレベルとエリア区分

鉄道、バスの各レベルの組み合わせから、公共交通のサービスレベルを設定します。また、レベルに応じたエリア区分を設定します。

サービス圏域		鉄道駅（A路線）		
		圏域外	レベル1	レベル2
バス停	圏域外	レベル0	レベル1	レベル2
	レベル1	レベル1	レベル2	レベル3
	レベル2	レベル2	レベル3	レベル4
鉄道駅（B路線）	圏域外	レベル0	レベル1	レベル2
	レベル1	レベル1	レベル3	レベル4
	レベル2	レベル2	レベル4	レベル5

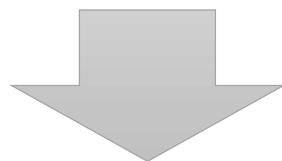
エリア区分	
【サービスレベル5】	主に中野駅、中野坂上駅周辺エリア
【サービスレベル3・4】	主に中野駅、中野坂上駅以外の駅周辺エリア
【サービスレベル0~2】	主に住宅地エリア



4. 公共交通サービス圏域とエリア区分

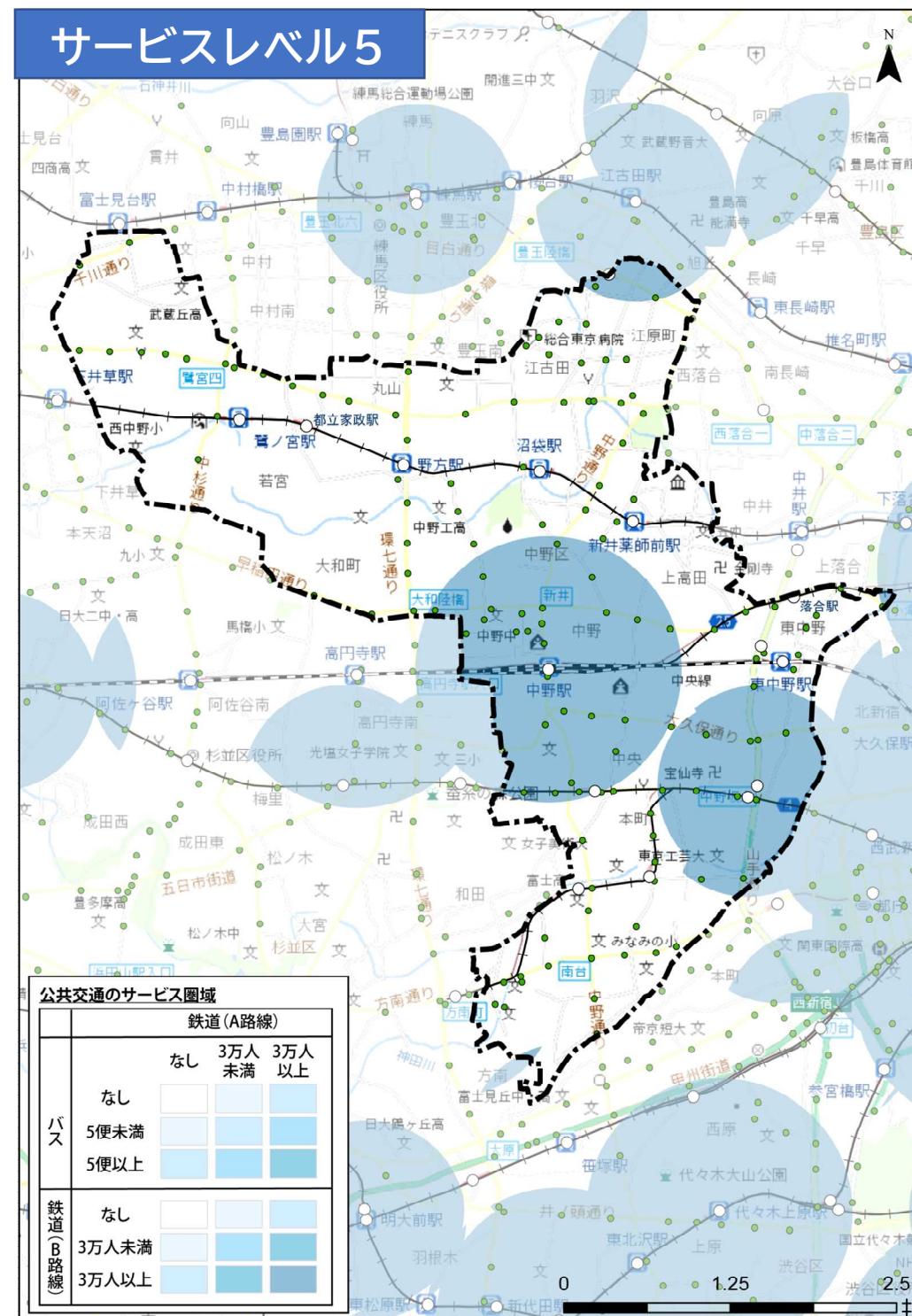
公共交通サービスレベル5

利便性の高い複数の鉄道路線やバス停が利用可能で、公共交通機関の選択自由度の高いエリア
(主に中野駅、中野坂上駅周辺)



エリア目標

利便性の高いまちの拠点となる交通結節点の形成



4. 公共交通サービス圏域とエリア区分

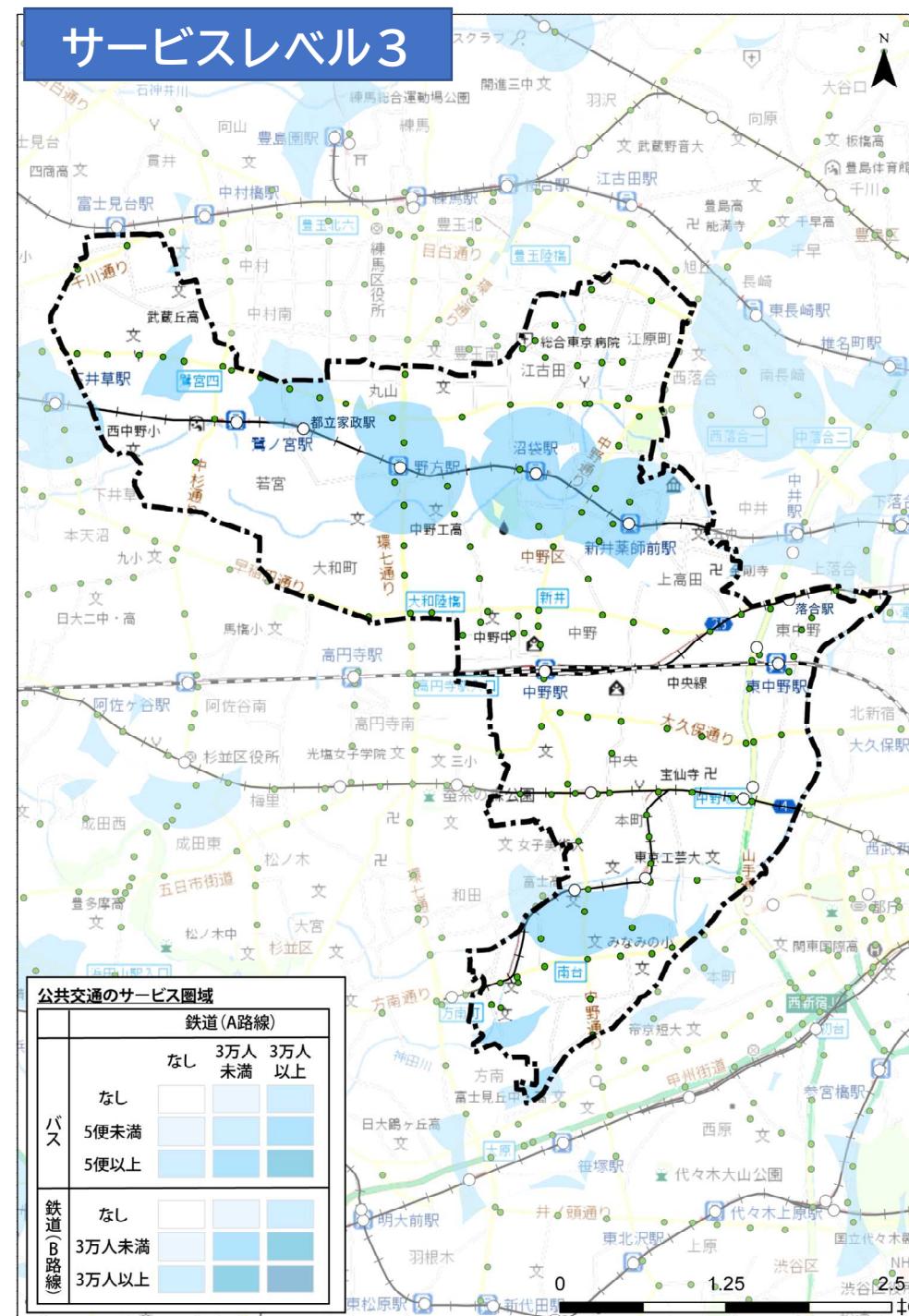
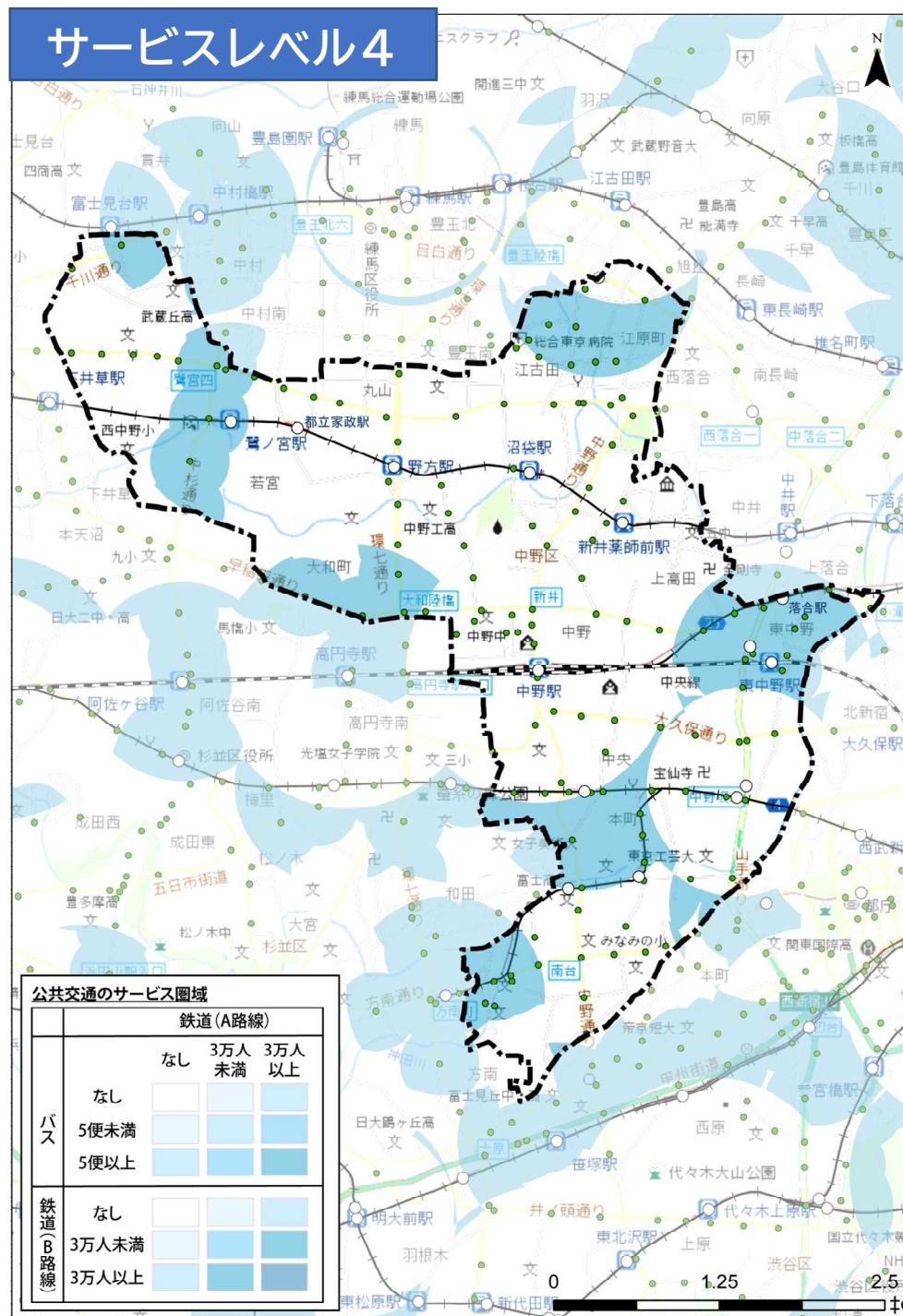
公共交通サービスレベル3・4

鉄道駅とバス停の両方が圏域内で、公共交通機関が利用しやすいエリア
 (主に中野駅、中野坂上駅以外の駅周辺)



エリア目標

区民の日常生活を支える公共交通の維持・改善



4. 公共交通サービス圏域とエリア区分

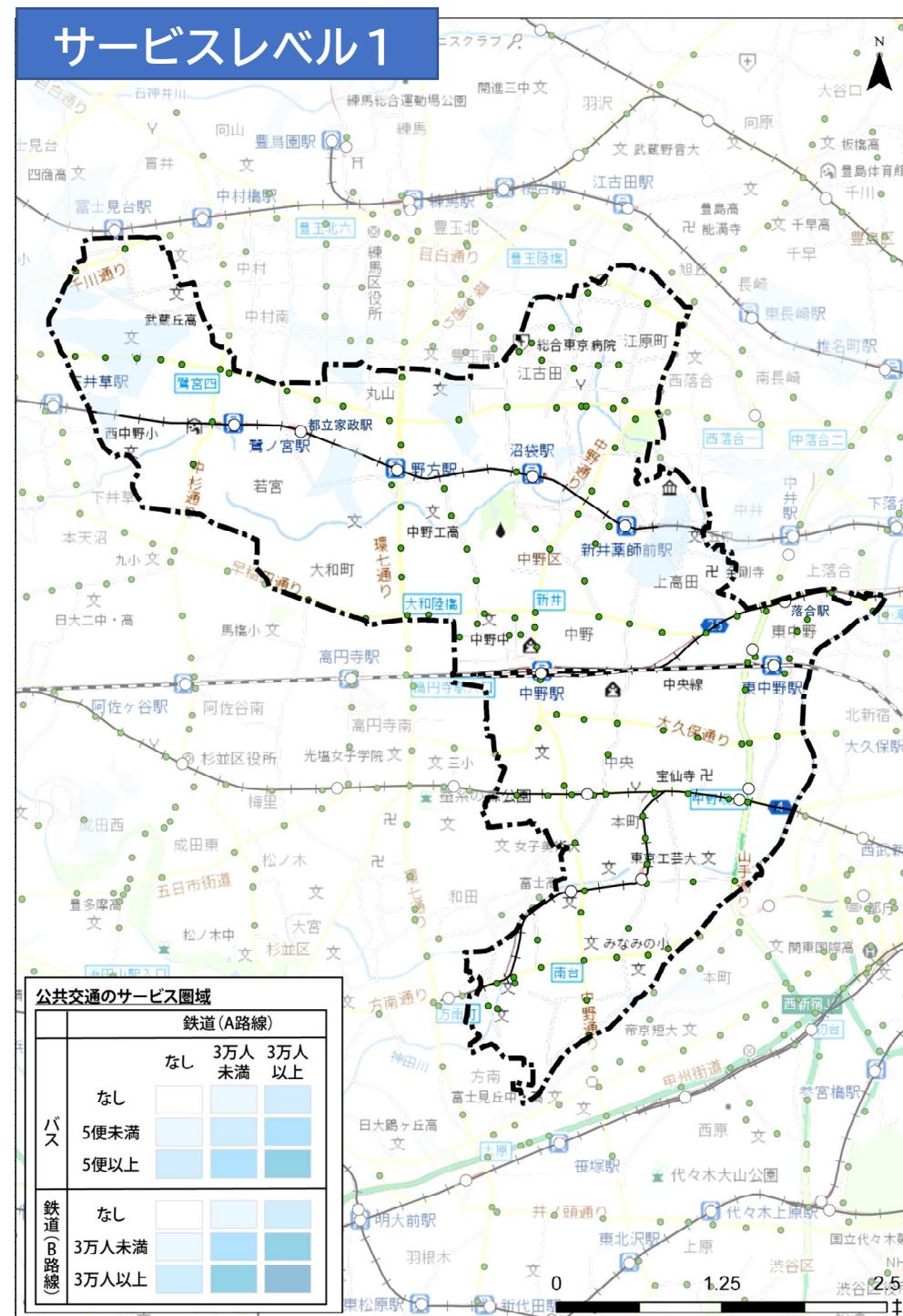
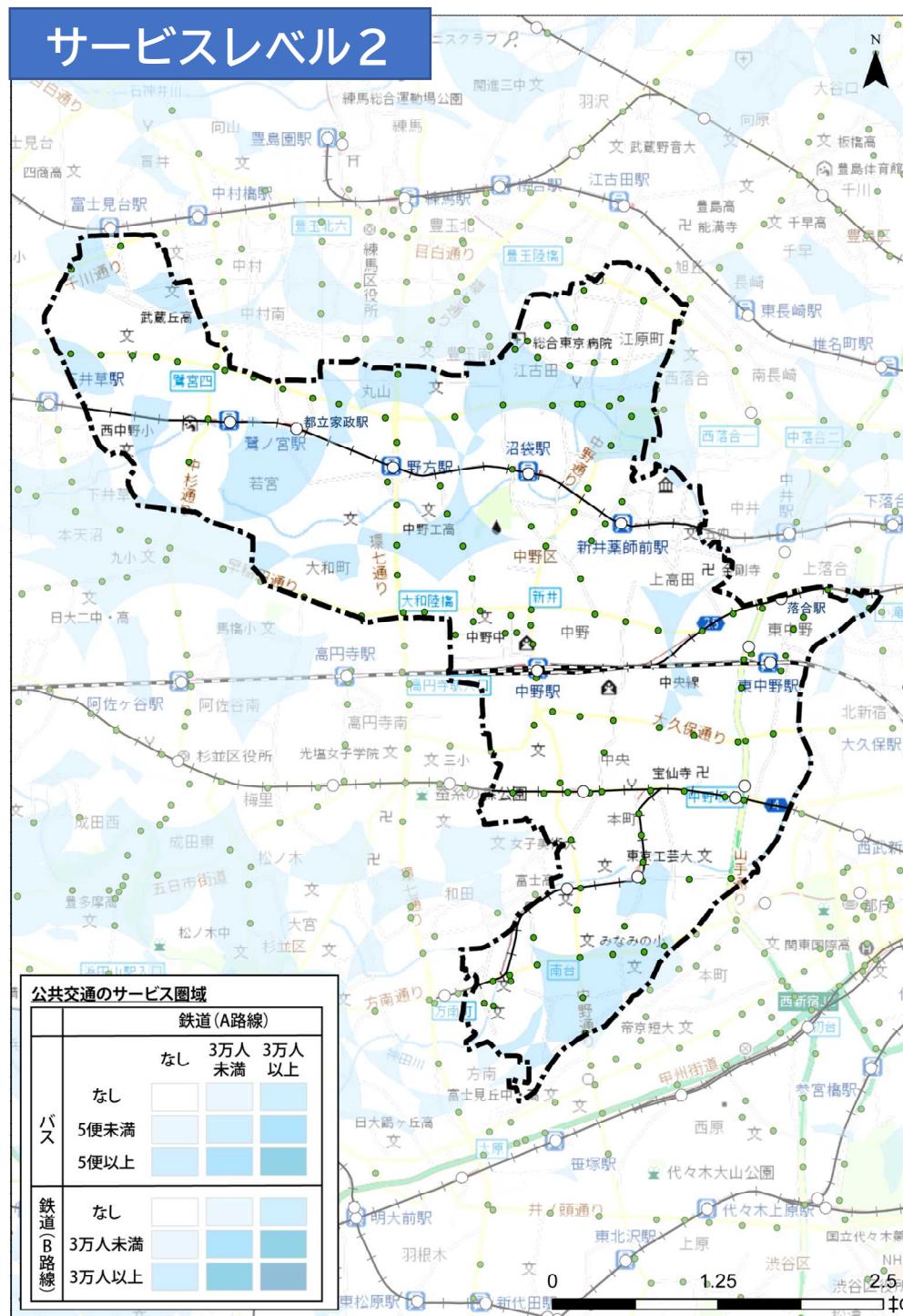
公共交通サービスレベル1・2

鉄道駅とバス停のどちらかが圏域内で、公共交通機関の選択自由度の低いエリア
 (主に駅周辺以外の住宅地)



エリア目標

区民の生活圏での
 快適な移動と回遊の確保



4. 公共交通サービス圏域とエリア区分

公共交通サービスレベル0

鉄道駅とバス停のどちらも圏域外のエリア
(主に住宅地)



エリア目標

区民の生活圏での快適な移動と回遊の確保

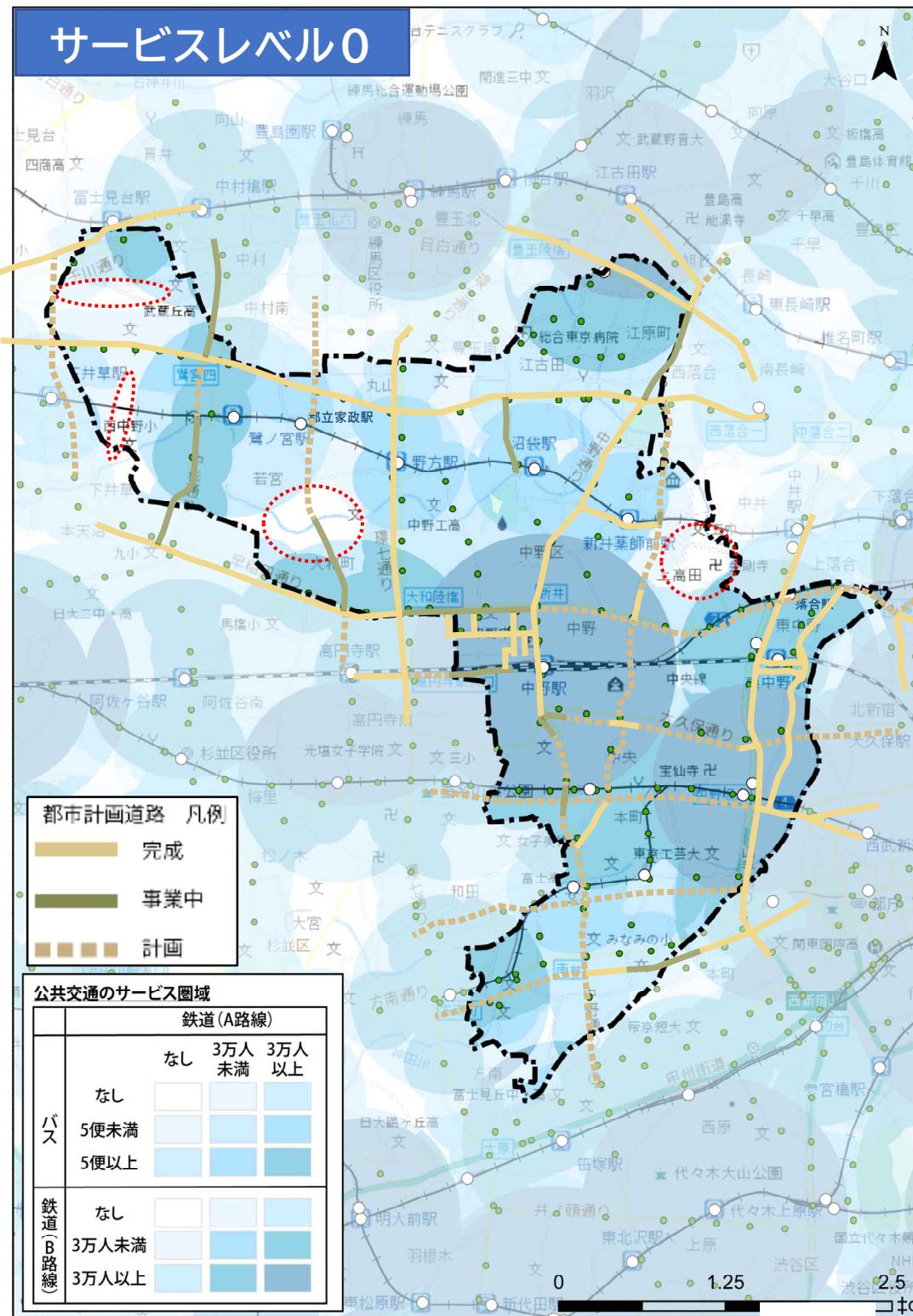
レベル1・2における取組に加え、
短期・長期的な視野で取組を行う

短期的な取組

新たな公共交通サービス（若宮・大和町地域で実証実験実施中）の導入やシェアサイクル活用等を図る

長期的な取組

都市計画道路整備やまちづくりの進展による路線バス網の再編や充実の可能性、住民意向・人口分布等を踏まえて地域公共交通サービスの最適化を図る。



5. 目標と施策案

目標と施策案

エリア区分	目標	施策案
【区全域】	<p>将来を見据えた公共交通の利便性向上および利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●脱炭素型移動手段の普及やモビリティ・マネジメントによる公共交通への利用転換を図る等、持続可能な脱炭素のまちづくりを推進します ●将来的に大きく変化する人口分布や高齢化社会に向け、MaaS(Mobility as a Service)等の新たなモビリティサービスの活用、自動運転等の新たな技術の実用化に向けた検討や取組みにより、スムーズな移動を支える公共交通ネットワークの最適化を図ります 	<p>施策1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待ち合い環境の整備 ・ICTの活用による情報提供 ・公共交通マップ等の作成 ・新たなモビリティサービス(MaaS)活用 ・公共交通への利用転換の意識啓発等(モビリティ・マネジメント)
【サービスレベル5】 主に中野駅、中野坂上駅 周辺エリア	<p>利便性の高いまちの拠点となる交通結節点の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中野駅周辺まちづくりにあわせて、ヒト中心のまちなかウォークブルを推進し、区の玄関口にふさわしい居心地の良い公共空間を形成、まちの魅力を向上します ●鉄道、バス、タクシー、自転車等の多様な公共交通手段によるアクセス性の向上を図り、交通結節機能を強化します 	<p>施策2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市型複合交通ターミナルの整備 ・安全な交通結節機能の整備 ・自転車・自動車駐車場の適正配置や集約化、荷捌き駐車場の確保 ・中野駅周辺への公共交通によるアクセス性の向上
【サービスレベル3・4】 主に中野駅、中野坂上駅 以外の駅周辺エリア	<p>区民の日常生活を支える公共交通の維持・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ●西武新宿線連続立体交差事業や各地の駅周辺まちづくり等の拠点整備にあわせて、誰もが安全・快適に利用できる公共交通環境を整備します ●バリアフリー化やデジタル化、バス待ち環境整備等、乗り継ぎの利便性や快適性を向上し、誰もがスムーズに移動できる、満足度の高い公共交通サービスを実現します ●シェアサイクルや自転車ネットワークの充実、自転車利用のための拠点機能強化等、多様性があり安全な公共交通の利用環境を創ります 	<p>施策3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス・タクシーの乗降場などの整備 ・バス案内システムの充実やバス待ちスペース確保などの環境整備 ・連続立体交差事業に合わせて、周辺のまちづくりと連動した整備 ・鉄道駅の改良や駅周辺のバリアフリー化 ・乗り継ぎ利便性の向上
【サービスレベル0~2】 主に住宅地エリア	<p>区民の生活圏での快適な移動と回遊の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小型モビリティ等の新たな公共交通サービスの導入により、生活圏での快適な移動と回遊性を確保します ●自転車ネットワーク整備やシェアサイクルの利用促進、タクシーならではのサービスの充実と周知等、多様で安全な移動手段の選択肢を提供し、交流拠点や生活拠点へのスムーズな移動を実現することで、公共交通への利用転換、及び利用促進を図ります 	<p>施策4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型モビリティ等の新たな公共交通サービスの活用 ・まちなかの結節空間の創出 ・安全な自転車走行ネットワークの形成 ・シェアサイクルの利用促進 ・新たな交通結節点

基本理念と基本方針

【基本理念】
 区民、企業、交通事業者、行政が相互に協力し、地域特性に応じた地域公共交通ネットワークを形成し、持続可能な地域交通環境の向上を目指す

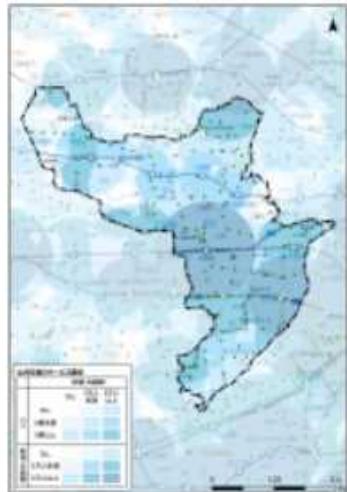
【基本方針】

- ① 将来を見越した**持続可能な公共交通**へ
- ② **多様な選択**を可能にする交通環境づくり
- ③ **新技術の発展や環境**に配慮した新たな取組

エリア区分の考え方

鉄道駅・バス停が持つ、それぞれのポテンシャルからカバー圏域を設定し公共交通サービスレベルの充実度を判断し、鉄道、バスの各レベルの組み合わせから、公共交通のサービスレベルを設定します。また、レベルに応じたエリア区分を設定します。

サービス圏域	鉄道駅 (A路線)			
	圏域外	レベル1	レベル2	レベル3
バス停	圏域外	レベル0	レベル1	レベル2
	レベル1	レベル1	レベル2	レベル3
	レベル2	レベル2	レベル3	レベル4
鉄道駅 (B路線)	圏域外	レベル0	レベル1	レベル2
	レベル1	レベル1	レベル3	レベル4
	レベル2	レベル2	レベル4	レベル5



上位計画・関係計画との連携

- 中野区基本構想
- 中野区基本計画
- 中野区都市計画マスタープラン
- 中野区交通政策基本方針 など

地域公共交通の現状と課題

充実した公共交通ネットワークにおいても、地域ごとに公共交通サービスレベルの差があるため、区全域から区民の生活圏まできめ細やかな取組が必要

新技術の導入や、脱炭素化の実現など社会情勢の変化への対応が必要

将来的に大きく変化する人口分布や高齢化状況への対応が必要

駅周辺や新たな拠点整備に合わせた交通環境の改善やネットワーク見直しが必要

目標

目標① 将来を見据えた公共交通の利便性向上および利用促進

- 脱炭素型移動手段の普及やモビリティ・マネジメントによる公共交通への利用転換を図る等、持続可能な脱炭素のまちづくりを推進します
- 将来的に大きく変化する人口分布や高齢化社会に向け、MaaS(Mobility as a Service)等の新たなモビリティサービスの活用、自動運転等の新たな技術の実用化に向けた検討や取組により、スムーズな移動を支える公共交通ネットワークの最適化を図ります

目標② 利便性の高いまちの拠点となる交通結節点の形成

- 野駅周辺まちづくりにあわせて、ヒト中心のまちなかウォークラブルを推進し、区の玄関口にふさわしい居心地の良い公共空間を形成、まちの魅力を向上します
- 鉄道、バス、タクシー、自転車等の多様な公共交通手段によるアクセス性の向上を図り、交通結節機能を強化します

目標③ 区民の日常生活を支える公共交通の維持・改善

- 西武新宿線連続立体交差事業や各地の駅周辺まちづくり等の拠点整備にあわせて、誰もが安全・快適に利用できる公共交通環境を整備します
- バリアフリー化やデジタル化、バス待ち環境整備等、乗り継ぎの利便性や快適性を向上し誰もがスムーズに移動できる、満足度の高い公共交通サービスを実現します
- シェアサイクルや自転車ネットワークの充実、自転車利用のための拠点機能強化等、多様性があり安全な公共交通の利用環境を創ります

目標④ 区民の生活圏での快適な移動と回遊の確保

- 小型モビリティ等の新たな公共交通サービスの導入により、生活圏での快適な移動と回遊性を確保します
- 自転車ネットワーク整備やシェアサイクルの利用促進、タクシーならではのサービスの充実と周知等、多様で安全な移動手段の選択肢を提供し、交流拠点や生活拠点へのスムーズな移動を実現することで、公共交通への利用転換、及び利用促進を図ります

目標達成のための施策

エリア区分	施策案
【区全域】	<ul style="list-style-type: none"> ・待ち合い環境の整備 ・ICTの活用による情報提供 ・公共交通マップ等の作成 ・新たなモビリティサービス(MaaS)活用 ・公共交通への利用転換の意識啓発等(モビリティ・マネジメント)
【サービスレベル5】 主に中野駅、中野坂上駅周辺エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・都市型複合交通ターミナルの整備 ・安全な交通結節機能の整備 ・自転車・自動車駐車場の適正配置や集約化、荷捌き駐車場の確保 ・中野駅周辺への公共交通によるアクセス性の向上
【サービスレベル3・4】 主に中野駅、中野坂上駅以外の駅周辺エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・バス・タクシーの乗降場などの整備 ・バス案内システムの充実やバス待ちスペース確保などの環境整備 ・連続立体交差事業に合わせて、周辺のまちづくりと連動した整備 ・鉄道駅の改良や駅周辺のバリアフリー化 ・乗り継ぎ利便性の向上
【サービスレベル0~2】 主に住宅地エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・小型モビリティ等の新たな公共交通サービスの活用 ・まちなかの結節空間の創出 ・安全な自転車走行ネットワークの形成 ・シェアサイクルの利用促進